

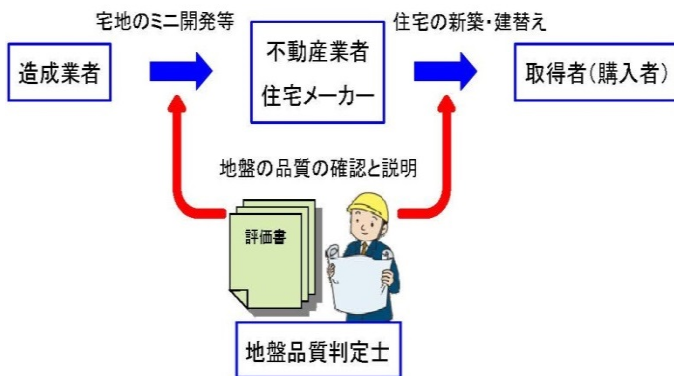
地盤品質判定士協議会のご案内

■ 地盤品質判定士とは

東日本大震災では、埋立て地の液状化や丘陵地の盛土や擁壁の崩壊等によって数多くの宅地が被災してしまいました。この教訓を活かし、宅地における地盤災害の防止や軽減を推進するため、地盤工学の専門知識と倫理観を有する技術者が、地盤の品質を確認し説明する業務において幅広く活躍することが求められています。

2013年2月4日に設立された地盤品質判定士協議会は、土木工学・建築工学分野や不動産・住宅関連産業に従事する地盤技術者を対象に、地盤品質判定士の資格制度を創設しました。地盤品質判定士は、宅地の造成業者、不動産業者、住宅メーカー、住宅及び宅地の取得者（購入者）の間に立ち、地盤の評価（品質の判定）に関わる調査・試験の立案，調査結果に基づく適切な評価と説明および対策工の提案等を行ないます。地盤品質判定士並びに地盤品質判定士協議会は、広く社会に貢献することを目指します。

■ 地盤品質判定士の役割のイメージ



■ 資格取得者の例

土木工学・建築工学分野の地盤を扱う技術者
 不動産・住宅関連産業に従事する地盤に関する技術者

■ 地盤品質判定士の技術範囲

- 地盤品質を判定できる基礎的な知識とその応用力
 技術者倫理
 宅地の造成，土砂災害に関わる法制度
 地質・地形・地盤の調査，土砂災害
 住宅等（小規模建築物）の基礎
 地盤の液状化
 盛土・切土と擁壁の安定性
 地盤改良
- 地盤品質を適正に判定できる十分な経験と技術力
 地盤の液状化，基礎の支持力と沈下，盛土・切土と擁壁の安定性

■ 東日本大震災が提起したこと

- 立地 → 地盤の液状化



- 丘陵地 → 盛土・擁壁の崩壊



対象	土木構造物 大規模な建築物	宅地 戸建て住宅
所有者	公的機関 大きな民間組織	一般の市民
被害	皆無ないし軽微	地盤の液状化 盛土・擁壁の崩壊
特徴	<ul style="list-style-type: none"> ●最新の基準類を整備 ●適切に耐震診断及び耐震補強 ●組織内の地盤技術者の存在 	<ul style="list-style-type: none"> ●災害を防ぐ仕組みの欠如 ●耐震診断や対策の不実施 ●地盤技術者のサポートの欠如

■ 会長の挨拶

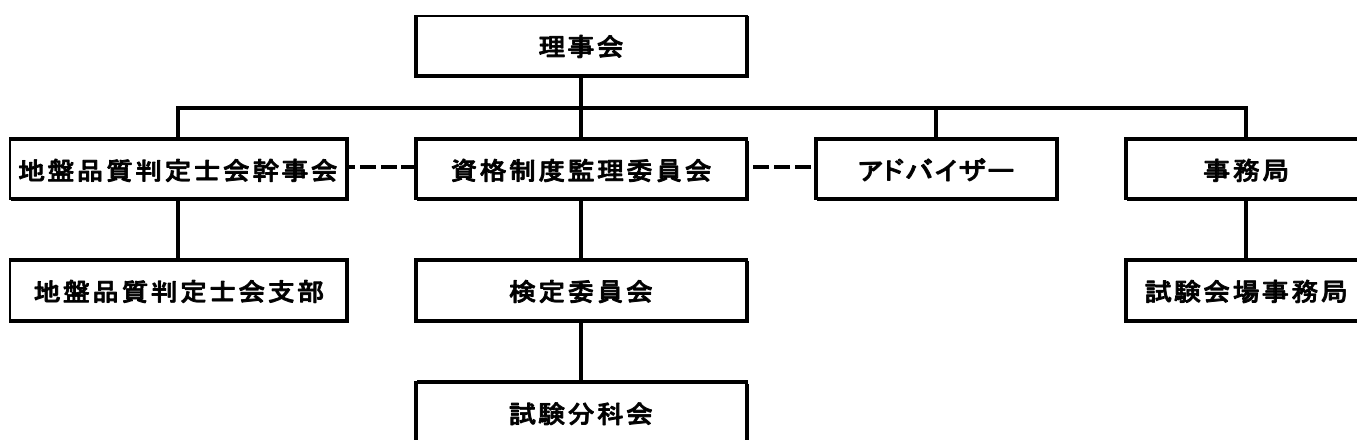
■ 地盤品質判定士の資質向上

2016年6月から東畑会長のあとを受け、地盤品質判定士協議会第三代会長を拝命しました村上 章です。宜しくお願い申し上げます。会長所信では、地盤品質判定士に関わる講習会・技術者教育を充実させることとして、地盤品質判定士補や判定士取得の補助となる講習会・実務補習の整備を掲げました。こうした継続学習は、公益目的にも適うもので、社会におけるインセンティブの付与を推進します。さらには、地震被災地域における宅地被災者の地盤相談窓口を設置するなど、地盤品質判定士の積極的支援により、各地で発生する地盤工学的諸問題の解決に向けた活動の展開を図りたいと考えています。各位のご支援を賜りますよう、重ねてお願い申し上げます。



地盤品質判定士協議会 会長 村上 章
((公社)地盤工学会 会長)

■ 地盤品質判定士協議会の組織



■ 過去の出願者数と合格・登録者数

年度		2013	2014	2015	2016	延累計
出願者数		1,474	658	448	298	—
合格・登録者数	地盤品質判定士	383	223	169	107	882
	地盤品質判定士補	243	92	84	5	252

注：補から士への登録変更があるため補の延累計は加算合計にはなっていない



地盤品質判定士協議会

The Japanese Association for Geotechnical Evaluation

協議会構成団体：(公社)地盤工学会, (一社)全国地質調査業協会連合会, (一社)地盤保証検査協会, (NPO)住宅地盤品質協会, (公社)土木学会, (一社)日本建築学会, (一社)建設コンサルタント協会, (一社)全国土木施工管理技士会連合会, (公社)日本不動産鑑定士協会連合会

【問合せ先】協議会事務局

〒112-0011 東京都文京区千石4丁目38番2号 (公社)地盤工学会 JGS 会館内

E-mail : jage@jiban.or.jp

Tel.03-3946-8766, Fax.03-3946-8678

URL : <https://www.jiban.or.jp/jage/>



(2017年5月31日版)